

若手リエゾン精神科医の会

(JSOUL : Junior Section of Ultimate Liaison)

【設立の経緯・目的】

超高齢社会で身体疾患を抱える患者が増えており、身体疾患と精神疾患両方に対応できるリエゾン精神科医のニーズが高まっています。日本総合病院精神医学会の役割が重要になる中で、これからの医療を担っていく若手精神科医の力、底上げが必要です。これまで学会発表で若手が発表して盛り上げたり、ネットワークを作ったりという機会はありませんでしたが、個人的なつながり・一時的な盛り上がりで終わってしまうという状況がありました。

そこで、継続的なネットワークの構築や交流の発展が可能な集まりがあれば、若手リエゾン精神科医のスキルや発信性の向上につながり、その中から将来の日本総合病院精神医学会の活動を背負っていけるような人材を育成することで広く日本の医療に貢献することができると考えました。その受け皿になるべく、若手リエゾン精神科医の会を設立しました。

若手リエゾン精神科医の会は、若手のリエゾン精神科医が①総合病院精神医学に関する普及啓発、②コンサルテーション・リエゾン精神医学に関する普及啓発、③継続的なネットワークの構築、相互研鑽を行うことによって、総合病院における精神医療の向上を図ることを目的にしています。

若手精神科医自らが発信することで、全国に散らばる次世代の精神医療を担う若手精神科医が総合病院精神医学に関心を抱き、その発展につなげることが重要であると考えています。

【活動指針】

- ① 若手精神科医によるコンサルテーション・リエゾン精神医学の普及啓発
- ② 総合病院で精神医療に関わる若手精神科医を中心としたネットワークの構築
- ③ コンサルテーション・リエゾン活動のスキル向上を目指した相互研鑽

【活動計画】

- ① 基盤体制の構築
 - ・ SNS やメーリングリスト、HP を通じたネットワークの構築
 - ・ 日本総合病院精神医学会や精神神経学会の総会で交流会を定期開催
- ② 若手主体のセミナーを開催
(症例検討、各施設の活動紹介などを通じたスキルアップ)
- ③ 順次、発展的に関連するテーマに取り組む
(キャリア形成の相談、本学会専門医試験対策、若手医師の国際交流、等)

【対象となる方】

- ・ 医師免許を有する日本総合病院精神医学会の会員（入会申請中の方も可）

- ・リエゾン精神科医としての職歴が 10 年目程度までの医師（自身で判断で可）
- ※ 50 歳を目安にサポーター（若手の支援、助言など）に移行をお願いします。
- ・若手リエゾン精神科医の会の目的および活動指針に賛同し、情報交換や啓発活動に積極的に関わっていただける方

【発起人】

五十嵐江美（東北大学病院 精神科）
大矢 希（京都府立医科大学大学院研究科 精神機能病態学）
兼久雅之（大分大学病院 精神科）
久保田陽介（名古屋市立大学病院 こころの医療センター）
齋藤 円（市立ひらかた病院 精神科）
伊達泰彦（光愛病院 精神科）
中神由香子（京都大学大学院 精神医学教室）
平山貴敏（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

【担当理事】

和田健（広島市民病院 精神科）

【入会希望の方】

下記の Google フォームに必要事項（氏名、所属、年齢、リエゾン精神科医としての職歴（年数）、メールアドレス、日本総合病院精神医学会の会員番号）をご入力下さい。担当者が確認し、ご連絡いたします。

<https://forms.gle/Gu7o4bbwZyYSSFUR6>

SNS

JSOUL 公式フェイスブック

URL :

https://www.facebook.com/Young_liaison-869692330059530/

QR コード :

